トマトキバガに対する当面の防除対策について（令和７年７月２日版）

熊本県農業革新支援センター

トマトキバガとは

ライフサイクル

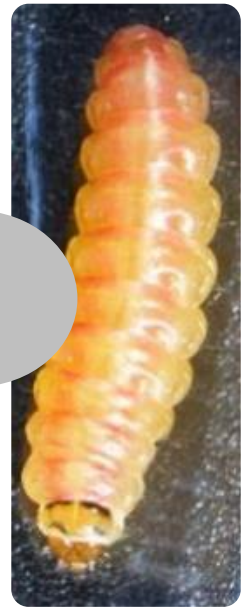
成虫

1世代あたりの日数
19.7℃の場合、39.8日
27.1℃の場合、23.8日

蛹

主に
株元やマルチ裏
で蛹化

幼虫



本資料について

目　的

当面の間、重点的に取り組むべき対策を示す

冬春作	拡大防止 ・定期的な農薬散布 ・出荷しない果実の適正管理 ・栽培終了後の密閉処理
夏秋作	予防 ・定期的な農薬散布 ・早期発見

冬春作における防除対策

冬春作の状況

栽培前提	・１mm目合以下防虫ネットを展張
栽培状況	・栽培終了前
被害状況	・防除の少ないほ場での発生が多い

冬春作における防除対策

定期的な農薬散布

登録農薬を散布

現在まで、国内では登録農薬での感受性の低下は確認されていない。

登録あり　＝　効果あり

しかし

トマトに登録がある農薬の一部がミニトマトに登録の無いため注意が必要。

【ミニトマトに登録の無い農薬】

①アグリメック
②トルネードエースＤＦ
③ファイントリムＤＦ

トマト：１４成分９系統
ミニトマト：１２成分８系統

R7.6.26現在

冬春作における防除対策

出荷しない果実の適正管理

×

・埋設
　又は
・ビニール被覆

○

・成虫にさせない
・成虫を出さない

冬春作における防除対策

栽培終了後の密閉処理

密閉処理

- 株を枯らして、ハウスを密閉
- 基本は、コナジラミ類（黄化葉巻病）対策と同様
  ただし、果実を野外に放置しない
  （埋設orビニールをかける）

冬春作における防除対策

まとめ

拡大防止	・出荷しない果実の適正管理 （埋設orビニール被覆） ・定期的な農薬散布 （登録を確認する） ・栽培終了後の密閉処理 （果実は、埋設orビニール被覆）

夏秋作における防除対策

夏秋作の状況

栽培前提	・防虫ネットなし（1mm目合以下）
栽培状況	・栽培前期

栽培初期のため被害が発生すると影響が大きい

夏秋作における防除対策

定期的な農薬散布

登録農薬を散布

現在まで、国内では登録農薬での感受性の低下は確認されていない。

登録あり　＝　効果あり

しかし

トマトに登録がある農薬の一部がミニトマトに登録の無いため注意が必要。

【ミニトマトに登録の無い農薬】

①アグリメック
②トルネードエースＤＦ
③ファイントリムＤＦ

トマト：１４成分９系統
ミニトマト：１２成分８系統

R7.6.26現在

夏秋作における防除対策

早期発見

早期に食害をみつける（葉）

トマトキバガ

幅が広い

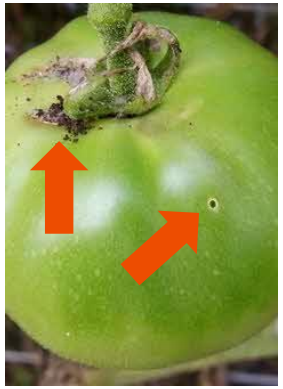
似ている食害痕

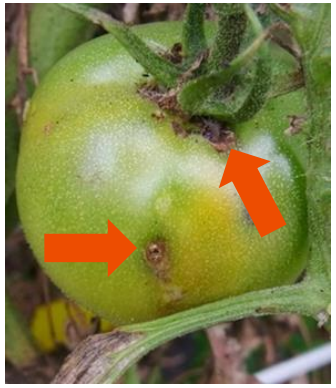
ハモグリバエ

幅が狭い

早期に食害をみつける（果実）

トマト





ミニトマト

夏秋作における防除対策

まとめ

予防	・定期的な農薬散布 （トマトキバガを意識した防除） ・早期発見 （葉の食害に注意）

発見時の連絡先

怪しい食害を見つけた場合は

生産者・関係業者

JA・市町村

農業普及・振興課

農業技術課

農業研究センター
病害虫防除所